

授業科目名：	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 清水直治 宮本信也
知的障害の心理・生理・病理			担当形態： オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	特別支援教育領域に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目（中心領域：知）		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
本授業では、令和の日本型学校教育が目指す学校教育の方向性を踏まえ、インクルーシブ教育の概念および特別支援教育のシステムを理解し、知的障害(知的発達症)とその他の発達障害(精神発達症)の定義、心理・行動特徴を理解するとともに、知的障害(知的発達症)の心理、生理、病理の理解を深めることを目指す。			
授業の概要			
テキスト、特別支援学校学習指導要領、文部科学省報告等に基づき、以下について学修する。 (1) 発達障害の概念を理解し、知的障害(知的発達症)の定義の心理・行動特徴および生理・病理を理解する。 (2) 知的障害(知的発達症)以外の発達障害の心理・行動特徴について理解する。 (3) 特別支援教育の成立史およびインクルーシブ教育の概念を理解する。			
授業計画			
第1回：インクルーシブ教育の概念と特別支援教育（担当：清水） 第2回：知的障害の定義（担当：清水） 第3回：知的障害の心理（担当：清水） 第4回：知的障害の生理・病理（担当：宮本） 第5回：知的障害の感覚機能 視覚機能と聴覚機能（担当：宮本） 第6回：知的障害の注意・記憶（担当：清水） 第7回：知的障害の学習（担当：清水） 第8回：知的障害の運動機能（担当：宮本） 第9回：知的障害の言語・コミュニケーション（担当：清水） 第10回：知的障害と健康（担当：宮本） 第11回：その他の発達障害① LD(限局性学習症)（担当：清水） 第12回：その他の発達障害② ADHD(注意欠如多動症)（担当：宮本） 第13回：その他の発達障害③ ASD(自閉スペクトラム症)（担当：宮本） 第14回：その他の発達障害④ 発達性協調運動症（担当：宮本） 第15回：家庭や医療機関との連携（担当：清水） 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト			
勝二 博亮（著，編集），細川 美由紀（著），軍司 敦子（著），田原 敬（著），青木 真純（著），日高 茂暢（著），鈴木 浩太（著），久保 愛恵（著）(2023)『知的障害児の心理・生理・病理[第2版]: エビデンスに基づく特別支援教育のために』北大路書房 ISBN-10： 4762832391 ISBN-13： 978-4762832390 ※旧テキストあるいは第2版のテキストのいずれかを使用すること。			
参考書・参考資料等			
特別支援学校学習指導要領等（平成29年4月公示・平成31年2月公示） https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main/1386427.htm 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課（2021）障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～ https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1340250_00001.htm 中央教育審議会（2021）「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）文部科学省（中教審第 228 号） https://www.mext.go.jp/content/20210126-mxt_syoto02-000012321_2-4.pdf 文部科学省（2023）「特別支援教育を担う教師の養成の在り方等に関する検討会議報告」 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/173/mext_00031.html 中央教育審議会（2023）「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～（答申）文部科学省（中教審第 240 号） https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00004.htm			
学生に対する評価			
レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			